

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	明解 世界史A (帝国書院)						
副教材等	プロムナード世界史 (浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

自ら問題意識を持って、主体的に授業に挑んで欲しい。
基礎知識を身に着けるために集中して授業に参加するとともに、資料集や関連書籍にも目を通してもらうと効果大きい。
現代の社会や世界は、これまでの歴史、人々の営みの結果である。
歴史の雄大さを感じつつ、これからの社会を展望してほしい。

2 学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	授業中の様子 レポート ワークシート	ワークシート レポート 発表	定期考査の史料問題 ワークシート	定期考査の知識問題 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	世界史へのいざない	・自然環境と歴史	○	○	○		a: 自然や地理とのつながりから歴史に対する興味を持つ。 b: 自然や地理と歴史の関わりについて、その特徴を適切に表現している。 c: 自然や地理と歴史の関わりについて資料を収集し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 自然や地理と歴史の関わりについて理解し、その知識を身に着けている。	授業態度 発問評価 ワークシート 課題レポート
	前近代の諸文明	・東アジア ・南アジア ・東南アジア ・西アジア ・ユーラシアの交流 ・ヨーロッパ ・アフリカ ・アメリカ	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 各地域の文明について興味を持つ。 b: 各地域の文明について、それぞれの特徴を考察し、適切に表現している。 c: 各地域の文明について、必要な資料を収集し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 各地域の文明について理解し、その知識を身に着けている。	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
1学期末 ・ 2学期中間	一体化に向かう世界	・大航海時代と新たな国家の形成 ・ヨーロッパとアメリカの諸革命 ・自由主義・ナショナリズムの進展 ・繁栄するアジア ・アジア諸国の動揺	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 一体化に向かう時代の世界について興味を持つ。各地域や各時代の違いについて関心を高める。 b: 世界が一体化に向かう各時代の特徴を考察し、それぞれ適切に表現している。 c: 一体化に向かう時代の世界について、必要な資料を収集し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 一体化に向かう時代の世界における各地域や各時代について、その知識を身に着けている。	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査 授業態度 発問評価 課題レポート ワークシート 定期考査

2学期末	現代社会の芽生えと世界大戦	・帝国主義の時代 ・急変する人類社会 ・第一次世界大戦ともたらした もの ・経済危機から第二次世界大戦へ	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 現代社会の芽生えと世界大戦について興味を持つ。現代社会との関わりについて関心が高める。 b: 現代社会の芽生えと世界大戦における特徴を、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c: 現代の世界を構成していくこの時代の動きや世界大戦について、必要な資料を収集し、読み取ったり図表にまとめたりしている d: 現代の世界を構成していくこの時代の動きや世界大戦について、その知識を身に着けている。	授業態度 発問評価 ワークシート 定期考査
	3学期	冷戦から地球社会へ	・冷たい戦争の時代 ・地球社会への歩み ・持続可能な社会を目指して	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 冷戦から現代社会にかけての特質や課題について自ら主題を設定し、持続可能な社会の実現について関心高め、展望する。 b: 冷戦から地球社会への歩みの中で、持続可能な社会を形成するための課題や解決策を考察し、論述するなど適切に表現している。 c: 冷戦を経て持続可能な社会形成のために、現代社会の特徴や課題に関する資料を収集し、有用な情報を選択して活用する。 d: 冷戦から地球社会の形成と、現代の持つ課題について、その知識を身に着けている。

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。